

令和3年3月9日（火曜日）



## 【参院予算委】菅首相「計画的にインフラ整備を」／足立敏之議員が質問



足立議員の質問に答える菅首相（左）

参議院予算委員会が8日に開かれ、足立敏之議員（自由民主党）が菅義偉首相などに今後の日本のインフラ整備に対する見解を質問した。足立議員は「日本は経済で一流を目指すならインフラ整備の水準も先進国並みに引き上げていく必要がある」とした上で、インフラ整備を充実させるために「長期計画に基づいて計画的な投資を」と強調。菅首相は「インフラ整備は地域の生活や経済を支えるために大きな役割を果たしている。引き続き計画的にインフラの整備を推進してまいりたい」と答弁した。麻生太郎財務大臣は「港から高速道路に物を運ぶまでの間の道路が極めて狭あいになっているのは事実。そういったことも含めて国土の強靱化の中には生産

性の向上も含め考えることが多いと思って努力している」と述べた。

また、昨年7月の豪雨により甚大な被害が生じた熊本県で災害復旧が進む中、足立議員は球磨川の治水対策に向けて「今後さらに地球温暖化に伴い水害が激甚化することを考えれば川辺川ダム建設を急ぐべき」と指摘。菅首相は「近年の水害の激甚化を踏まえれば、災害復旧が完了したとしても球磨川流域が昨年同様の豪雨に襲われた場合は再び地域にとって経済的に大きな被害が生じる恐れがある」とし、川辺川ダムについては地域の声を聞いた上で「しっかりと対応したい」と答えた。

さらに、2月13日に福島県沖を震源とする最大震度6強の地震が東北地方で発生したものの、インフラ関係の被害は極めて限定的だったことから、足立議員は「東日本大震災から10年。地震の規模の違いはあるにしても地道にしっかりと進めてきた耐震対策によって今回、被害をかなり限定的に抑えることができたのではないかとし、東日本大震災以降の耐震対策の効果を質問した。赤羽一嘉国土交通大臣は、東日本大震災以降、鉄道や道路などで耐震補強に取り組んできたことを説明しながら「安全安心を確保できる防災・減災対策、国土強靱化対策をしっかりと進めていかなければいけない」との考えをあらためて表明した。